

# ASP.NET

ASP.NET をめぐる  
**思考と試行と**  
その冒険

INSIDE

第18回

## ASP.NETで独自認証を実現する

フォーム認証、  
およびHTTP モジュールを使った認証法

秋月 巖 AKIZUKI, Iwao  
秋月巖ソリューション事務所

### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

### Level

### Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥ASP.NETディレクトリに収録しています。

¥ASPXAUTH  
サンプルプログラムとソースコード



ユーザーフレンドリな  
Webアプリケーション  
開発の本命は？

先月号でDHTMLを使ってユーザーフレンドリなユーザーインターフェイスを持つWebアプリケーション開発を扱った。しかし、.NET Frameworkの新しいバージョンではさらにデフォルトのセキュリティ設定が変更され、Webからダウンロードした.NETクライアントアプリケーションが実行できるようになっているというのではないか。私は先月号の本誌「なにができるの? Visual Studio .NET 2003」を読んでそれを知った。Webサイトからアプリケーションをダウンロードして自動的に実行することをノータッチデプロイメントというらしい。

これが可能ならば、わざわざDHTML (というかクライアントスクリプト)のような洗練されていない、かつ堅牢でない技術を用いてアプリケーションを開発する必要もな

い気もする。とはいえ、.NETクライアントアプリケーションのノータッチデプロイメントを実現するには、クライアントコンピュータに.NET Frameworkがインストールされている必要がある。全世界のコンピュータのうち.NET Frameworkがインストールされている割合が6% (根拠のない個人的推定)で、そのうちのさらに84% (これも根拠なし)が旧バージョンである.NET Framework 1.0であることを考えれば、インターネット環境では実用的でないのだが、社内システムのようにクライアントコンピュータの環境を管理できる状態ならば、検討の余地がないわけではない。



.NET Framework  
バージョンアップを  
めぐる悲劇

ところで、私のコンピュータには.NET Framework 1.1がインストールされている。私は丁寧に旧バージョンをアンインストールしてから

これをインストールしたのだが、そうしたら Visual Studio .NETの旧バージョンが使えなくなってしまった。私は Visual Studio .NETの旧バージョンが新しい .NET Frameworkに対応していないのを知らなかったのだ。仕方なく Visual Studio .NET 2003のベータをインストールしようと旧 Visual Studio .NETをアンインストールしてから CD-ROM ケースをみていたら、翌日に使用期限が切れるところだった。で、さらに仕方なく、とりあえずということで Web Matrix をインストールしたのだが、なんとなく使わないうちにアンインストールしてしまった。

で、やはり、Visual Studio .NET が使えないのはまずいと思い、.NET Framework 1.1 をアンインストールして旧バージョンに戻すために、まず、.NET Framework 1.1 SDK をアンインストールした。しかし、そこで「もうすぐ締め切りなのに、ここでマシンが動かなくなったらどうしよう」と急に不安になった。私はいま予備のコンピュータも壊れているのだ。

結局、SDKのない .NET Framework 1.1 がインストールされているだけの状態でこの記事を書いている。とりあえずヘルプは Microsoft の Web サイトを参照している。.NET Framework 1.1 がインストールされているコンピュータに旧バージョンをインストールすることもできるようなので、そうすれば最低限の手間で両方のバージョンが両立できるはずである。とはいえ、ここで説明した私の行動において、インストールの前に必ず旧バージョンのアンインストールを行なっていることに気づいた人もいるだろう。「人生を大切に作る人間は慎重になるものです」というのは、ヴィスコンティの「神々の黄昏」でロードヴィッヒ国王の忠実なる臣下であるデュルクハイム大佐が言うセリフだが、「Microsoft と付き合い人間は慎重になるものです」というのは私のセリフである。

.NET

## 増えた選択のオプション。 それはそれで悩ましい

もっとも、古いバージョンに新しいバージョンを上書きする通常のアップデートよりは、その逆のほうが安全なものである。これは常識の逆かもしれないが、旧バージョン

のインストーラの開発者が新バージョンの存在を知らないがゆえに、旧バージョンのインストーラは自分の務めを果たすのに忠実になりえるのである。

あるいは、現時点で .NET Framework が普及していなかったことはよかったのかもしれない。今後、.NET Framework の普及は進むだろうが、最終的に旧バージョンの .NET Framework 1.0 が残る割合は少ないだろう。ということは、ノータッチデプロイメントが動作する可能性は高くなるというものだ。

ノータッチデプロイメントで Web 経由で動作する .NET クライアントアプリケーションを Web アプリケーションと呼ぶかどうかは微妙なところだが、これにより、今後の Web アプリケーション開発において、HTML だけを使うプレーンな Web (サーバー) アプリケーション、DHTML やクライアントスクリプトを用いてクライアントリッチにした Web アプリケーション、そしてノータッチデプロイメントでの .NET クライアントアプリケーションと 3つの選択ができるようになったことになる。プログラミングの柔軟性が高くなるにしたがって、配布の簡便性が低くなるのは仕方がないだろう。

.NET

## ASP.NETでの認証

ここまでの前置きとは何も脈絡がないのだが、今回は ASP.NET を使った認証を扱うことにする。ASP.NET で認証というと、Windows 認証、フォーム認証、Passport 認証があるというのは、どのドキュメントにも書いてあることである。そこで今回は、

- ・プログラミングでフォーム認証を行ない、ユーザーが使用しているデータベースの情報を使って認証する方法
- ・これら ASP.NET の認証システムを使わないで HTTP ランタイムを使用して認証システム自体を実装する方法

の2つを解説する。

ASP.NET が提供する認証方法のうち、Windows 認証、

ASP  
.NET  
INSIDE